

令和6年度花壇コンクール審査会

1 花壇コンクール審査会

- (1) 日 時 令和6年7月5日(金) 午前9時00分～午後4時00分
- (2) コンクール参加団体【資料1】
- (3) 審査委員 花いっぱい運動推進協議会委員9人
山崎会長、松下副会長、森田委員、志村委員、岡野委員、安部委員、
木住野委員、海老原委員、野口委員
- (4) 審査方法 応募のあった花壇を回り、各審査委員が次の審査項目(4項目)について、10点満点で審査し、合計得点で入賞花壇を決定する。
 - ① 草花の生育状況
 - ・花や葉に十分に栄養が行き届いている。
 - ・花や葉にしおれなどがなく色つやが良い。
 - ② 花壇のデザイン
 - ・花の種類、色、形、高さ、配置などを工夫して花を植えている。
 - ・花壇の形などを工夫している。
 - ・飾り方を工夫している。
 - ③ 花壇の手入れ状況
 - ・花柄摘み、雑草の処理、灌水、病害虫対策、水はけなど
 - ④ 花壇への取り組み姿勢・総合評価
- (5) 部 門 道路部門及び公園・広場部門
- (6) 審査結果 ・【令和6年度花壇コンクール審査結果】のとおり
・審査結果をもとに道路部門3花壇、公園・広場部門6花壇を入賞花壇とした。
- (7) 広報掲載 審査結果について、8月1日号に掲載する。
- (8) その他
 - ・今年度は、17町内会・自治会から18花壇の応募があり、そのうち高瀬町内会及び中村自治会が新規参加団体であった。
 - ・町内会・自治会長や役員の方々が猛暑の中審査に立ち会い、花壇のPRをしていただき、コンクールへの意気込みを感じた。
 - ・終了時間が10分ほど遅れたが、大きな遅延はなく、ほぼ行程表通り進めることが出来た。
 - ・例年、梅雨開けを待った7月下旬に審査をしていたが、審査時期を早め、7月上旬に審査をした。そのため、各団体の植付け日から長く期間を空けることなく審査出来たため、各花壇のお花は暑さで萎れることなく、また地域の方々の日々の手入れのお

かげもあり綺麗に咲いていた。

(9) 入賞看板のデザインについて 【資料5】

昨年度との変更点は、看板の横幅を50mm小さくしたこと及び森っこサンちゃんとチューリップのイラストを足したことである。

→異議なしのため、令和6年度入賞看板のデザインは、【資料5】の通り決定した。

2 令和6年度視察研修について 【資料6】

候補地案として、調布市及びさいたま市を提案し、調布市に決定した。

視察目的は、前回協議会で決定した「町内会・自治会だけでなく、一般市民参加による花いっぱい運動が活発な地域を視察し、今後の花いっぱい運動事業の参考にすること」である。

日程候補は、以下の通りであり、先方と調整し決定することとなった。

第1候補 10月4日(金)

第2候補 10月3日(木)

第3候補 10月2日(水)

3 その他

(1) 花の講習会について

現時点で予定している以下のことを報告した。

・種まきの基本講座とプランターで花を植える場合の基本講座、計2講座を実施予定である。

・実施時期は、種まき編は9/21(土)、プランター編は10/19(土)、各講座定員20名で8月の広報で募集をかける予定である。

・講師は、種まき編は野口先生、プランター編は花のボランティア団体のメンバーの大川原先生に行っていただく。

・実施場所は各講座とも中央公民館の第2工作室で実施予定である。

・前回の協議会で町内会で花いっぱい運動に参加してくれる方を募集しているが中々集まらないというご意見があったため、講習会の中で、町内会・自治会の花いっぱい運動についてPRをする。

(2) 市政30周年記念イベントについて

第1回協議会において、来年度市政30年を迎えるにあたり、市内を花いっぱいにするような事業を行えたら良いと考えていることを報告し、アイデアを少し考えていただくように依頼した。今回の協議会で以下のアイデアが出た。

・農家の方に協力いただいて、畑の一部にみんなで花を植えて花アートを作る。例として、八王子市が市政100周年記念事業として、田んぼアートを実施していた。

→畑の利用許可を得ないといけないことやトウモロコシ等の作物の収穫時期等を考慮し花を植える必要がある、というご意見があった。

- ・ひまわりや他の花で記念モニュメントを作る。
- ・秋川駅前に多数のプランターを並べる。

⇒いただいたご意見を参考に市で検討し、次回の協議会で報告することとなった。